

2023 年度 事業報告

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

1. 文化・芸術に関する資料の収集・保存および展示

1、NISSHA 印刷歴史館 展示物の一般公開

実施年月日	団体での主な見学者
2023 年 4 月 4 日	社員研修会 31 名
4 月 21 日	社会福祉法人京都光彩の会 10 名
5 月 20 日	まいまい京都 23 名
7 月 13 日	尼崎市・歴史博物館関係者 15 名
8 月 11 日	まいまい京都 22 名
8 月 22 日	洛中児童館 25 名
9 月 15 日	京都リビング新聞社 11 名
10 月 2 日	内定者研修会 31 名
10 月 14 日	まいまい京都 23 名
10 月 25 日	社員研修会 21 名
11 月 10 日	嵐山女性会 12 名
11 月 15 日	名古屋市立工芸高校 41 名
11 月 17 日	キャリア研修会 48 名
11 月 18 日、19 日	関西文化の日 82 名
12 月 16 日	京都産業大学ゼミ生 13 名
2024 年 1 月 13 日	まいまい京都 23 名
1 月 19 日	奈良県葛城郡小学校教頭会 18 名
2 月 8 日	如月会 32 名
2 月 9 日	京都 SKY センター 35 名
2 月 19 日	京都市立朱雀第七小学校 3 年生 42 名
3 月 1 日	クラブツーリズム東京 23 名
3 月 29 日	源氏物語の会 15 名
	小計 596 名
	その他個人での見学者 268 名
	合計 864 名

- ・【団体】年度前半は落ち着きを取り戻しつつあったコロナ感染状況の様子見の感があったが、夏場から秋口にかけては、各種団体や学校関係者の見学が相次いだ。毎年の定期見学コースに組み入れている団体も多くみられ、特に3か月に1回有料で実施の「まいまい京都」では、当館の見学がすっかり人気コースのひとつになっている。

【個人】Web サイトによる情報開示の効果もあって、近隣のみならず、関東、中部、中国地方などの遠方から、個人および複数名で見学される件数が以前に比べて大きく増えており、開館回数の増加につながっている。

【希少性】印刷という特殊領域に関する歴史館、博物館が全国的に数少ないことも人気が拡大する要因のひとつと考えられる。

2、文化・芸術に関する書籍、道具、機械等の収集と一元的管理を引き続き実施

- ・今年度は美術品として、18～19 世紀にかけて活躍した著名作家のオリジナル銅板・版木・石版と、挿絵師スタンランのリトグラフを購入。基本財産に繰り入れた。

2. 文化・芸術の振興を目的とした活動および助成・支援

1、講座の開催

(1) 文化セミナー ワークショップ

＊10/19(木) NPO 法人京都洛北・森と水の会からの企画提案を受け、大原三千院境内において「京都洛北まちくさみつけ」のワークショップを行った。当日は地元の京都大原学院4年生15名と先生ほか6名が参加し、それぞれにまちくさ冊子とグッズを提供した。

＊毎年恒例で実施している、近隣の朱雀第七小学校3年生を対象とした「まちくさみつけ」のワークショップは、今年度も5月のまちくさ探し、6月のカード作り、11月の発表会、そして今年に入った2/19には参加児童39名と引率先生3名をNISSHA本館2階に迎え、印刷歴史館の見学でワンクールを終了した。

(2) 文化イベント

＊8/22(火) NPO 法人子どもとアーティストの出会いの企画・運営により、昨年の

朱雀第三児童館に続き、本年度も「みんなでサファリパークをつくろう」イベントを主催。洛中児童館の児童 30 名と引率者 3 名がNISSHA本館 2 階に集まり、ジャワ芸能ユニット：ハナ・ジョスの演奏を聴いたり、それぞれの児童が制作した影絵作品を自ら操作して上演した。

2、助成事業

① 障害者芸術推進研究機構(愛称:天才アート KYOTO)

＊内容 2011 年に設立された特定非営利活動法人で、障害のある人の芸術作品の海外発信を目的に活動。学齢期より生涯にわたり継続してアート制作できる場の提供や作品評価、作品展、販売など多岐にわたる支援事業を行っており、2022 年 10 月に 3 年間の有期限契約を締結し幅広く支援している。

② YOYOKA の音楽活動

＊内容 14 歳の天才ドラマーとして世界的に注目を浴びている相馬世世歌(YOYOKA)さんが、一家でアメリカに拠点を移して本格的な音楽活動を開始した。父親が関係する株式会社バランススタジオと2022年9月に3年間の有期限契約を締結し、半年ごとに活動レビューの確認することを条件に支援している。

③ NPO 法人子どもとアーティストの出会い

＊内容 2008 年に設立された NPO 法人で、芸術文化の促進やアーティストの活動支援を通し、子どもたちの健全な育成、想像力や創造性、感性の育みを図り、多様な社会の創出に寄与することを目的として活動。学校などの教育現場や文化施設において、子ども向けワークショップの企画・運営ほか、研究会やシンポジュームの開催を支援している。

④ 第 8 回「筆文字で伝えたいことば大賞 2023」

＊主催 一般社団法人日本デザイン書道作家協会

＊表彰 2023 年 11 月 5 日(日) 会場 新宿住友スカイルーム

＊内容 筆文字だからこそ伝わる言葉、伝えたい言葉を、自由な発想で表現することを目的に開催。1,932 点の応募の中から、幼児・学生の部(幼・小・中・高校生)と一般の部(18 歳以上)それぞれ大賞を含む入賞 13 作品が表彰され、当財団賞として両部門に賞状および副賞を授与した。

⑤ 第3回「書のひろば筆文字デザイン賞」

- *主催 毎日新聞社 一般社団法人日本デザイン書道作家協会
- *表彰 2024年3月23日(日) 会場 毎日新聞東京本社・毎日ホール
- *内容 年度ごとに地域の活性や豊かな暮らしの実現を目的としたテーマを作り、子供から大人まで、多くの方に筆で文字を書くきっかけづくりを提供することを目的に開催。今回の第3回は438点の応募の中から、学生の部(小・中・高校生)と一般の部(18歳以上)それぞれ大賞を含む入賞10作品が表彰され、当財団賞として両部門に賞状および副賞を授与した。

⑥ 第26回「京都国際学生映画祭」

- *主催 公益財団法人大学コンソーシアム京都
- *期間 2024年2月10日(土)～2月12日(月)
- *会場 京都文化博物館フィルムシアター
- *内容 京都を中心とする関西圏の学生が主体となって企画・運営を行う日本最大の国際学生映画祭。今回は国内134作品、海外300作品の計434作品の応募があり、入選16作品が京都文化博物館フィルムシアターで上映された。若手映像作家の登竜門として注目され、世界で活躍するプロも生まれている。

⑦ 第7回「ARTISTS' FAIR KYOTO2024」

- *主催 ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会
- *期間 2024年3月1日(金)～3月3日(日)
- *会場 京都国立博物館(明治古都館)、京都新聞社ビル地下1階、清水寺
- *内容 新進若手アーティストが企画から出品および販売まで行うイベントで、2018年に始まり今回が7回目。国内外で活躍するアドバイザー16組と、推薦を受けた若手作家44組の計60組が724点の作品を出品し、今年度は前年比1.5倍の販売成約があった、

⑧ 京都芸術センター「林智子展覧会」ーそして世界は泥であるー

- *主催 京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)
- *期間 2024年3月30日(土)～6月9日(日)
- *会場 京都芸術センター ギャラリー北・南
- *内容 出展作家の林智子氏は、京都を拠点に先端的なテクノロジーを援用しながら、人と人との間に生じる感覚やコミュニケーションをテーマに作品を制作する、独特の表現力が世界的に注目される美術作家。

⑨ 京都府立図書館所蔵の天井画修復事業

- *助成先 京都府立図書館
- *作品名 紙本着色 鳳凰孔雀図(作者不明)
- *修復者 (株)橋本光厳堂
- *監修者 京都市立芸術大学大学院教授 宇野茂男氏
- *完成予定 2026 年 3 月
- *内容 京都府立図書館の前身、集書院(明治初年に開設された日本初の公立図書館)の天井に取り付けられ、解体後は府立図書館の倉庫に長く保管されていた絵画(縦 1.85m×横 3.65m×2 種)で、極めて文化価値のある重要作品であることがこの度判明。破損修復のうえで屏風仕立てにして保存・一般公開されることになる。

⑩ 第 11 回 KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭

- *主催 一般社団法人 KYOTOGRAPHIE
- *期間 2023 年 4 月 15 日(土)～5 月 14 日(日)
- *会場 京都文化博物館 別館、京都京セラ美術館 別館ほか市内約 10 か所
- *内容 国内外の気鋭写真家の作品展示を中心に、日本では数少ない国際的な写真祭で、新たな創造性を生み出す国際的プラットフォームの構築を指している。前回から助成を始めた。

3. その他情報発信事業

1、財団ホームページの運用・管理

期 間	アクセス数
2009 年度	1,825 件
2010 年度	1,976 件
2011 年度	1,845 件
2012 年度	1,761 件
2013 年度	1,858 件
2014 年度	3,715 件
2015 年度	4,123 件
2016 年度	3,622 件
2017 年度	2,684 件

2018 年度	3,680 件
2019 年度	3,626 件
2020 年度	3,551 件
2021 年度	5,513 件
2022 年度	6,823 件
2023 年度	5,207 件

2、 Web マガジン「AMeeT－Art Meets Technology」の運用・管理

財団公益事業の一環として、「アート・文化とテクノロジーを結ぶサイト」をコンセプトに、コラム・イベント案内・デジタルアーカイブなどを隔月で更新、リリース。

期 間	アクセス数
2009 年度	5,750 件
2010 年度	28,731 件
2011 年度	35,685 件
2012 年度	40,797 件
2013 年度	41,894 件
2014 年度	44,091 件
2015 年度	38,661 件
2016 年度	45,101 件
2017 年度	41,198 件
2018 年度	53,242 件
2019 年度	51,457 件
2020 年度	66,888 件
2021 年度	55,300 件
2022 年度	* 131,224 件
2023 年度	47,701 件

* 注記： 人気漫画作家、三浦よし木さんの
描き下ろし作品「のりちゃん」公開で大ヒット

AmeeT からの派生 Web である YouTube「AmeeT “Express Yourself”」も予定通り月 2 本のペースで公開中。また子供たちに新しいアートを創り出し、直に触れる機会を提供する Tach the Art (For Childoren) も年 1 回のペースで実施している。

3、その他トピックス

*印刷歴史館第1展示室のリニューアル

従来の歴史パネルでの説明や個別展示品の口頭説明を一部方向転換し、3面のモニターに流れる「つながりに気づく映像」を放映、今につながる印刷の歴史により詳しく触れてもらうことを目的にリニューアルを行った。また主要展示品ごとにQRコードによる「深める映像」を準備し、来館者の見学記録として残せるようにした。

*京都市京セラ美術館にPAT大賞作品を寄贈

前年度末に当たる2023年3月24日に、当財団が主催した第3回PATinKyoto 京都版画トリエンナーレの大賞受賞作品、吉岡俊直作〈全身と指先〉を京都市美術館所蔵品として寄贈した。当日は京都市本庁舎4階の「正庁の間」において関係者出席のもとで寄贈式が執り行われ、寄付受納書と感謝状が門川大作京都市長から鈴木理事長に手渡された。

*京都市京セラ美術館法人メンバーシップに加入

京都市京セラ美術館とのより一層の連携を深めることを目的に本年度7月付けで法人メンバーシップのブロンズ会員に加入した。

*ANAの教養動画制作に撮影取材協力、ロケ場所に印刷歴史館が選ばれる

ANA(全日本空輸)が運営する会員向け動画配信サイト『penguin』の企画の中に、印刷歴史館を取り上げたいとの申し入れがあり、撮影および取材に協力した。今回は主に写真と印刷にフォーカスした「次世代への継承」がテーマで、展示室内で京都芸術大学の大林教授が解説する形で収録された。

*来年度2025年4月15日(火)から5月11日(日)の27日間にかけて、京都市京セラ美術館で開催を予定している、当財団主催の第4回PATinKyoto 京都版画トリエンナーレの準備が進んでいる。この間、定期的に関く実行委員会において決定した推薦委員17名と、その委員が個々に推薦した作家17組が正式に決定。いよいよ開催に向けて本格的スタートを切った。

正味財産増減計算書 予算対比

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

(円)

	科 目	決 算	予 算	差 額
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	経 常 収 益			
4	基本財産運用益			
5	基本財産受取配当金	15,087,207	14,093,000	994,207
6	事業収益			
7	体験活動参加費	0	100,000	▲ 100,000
8	受取寄附金			
9	受取寄附金	50,000,000	50,000,000	0
10	雑収益			
11	受取利息	557,482	600,000	▲ 42,518
12	雑収益	176,487	140,000	36,487
13	経 常 収 益 計	65,821,176	64,933,000	888,176
14	経 常 費 用			
15	事 業 費			
16	収集・保存・展示	18,614,734	13,000,000	5,614,734
17	振興・助成・支援	10,372,628	11,000,000	▲ 627,372
18	その他情報発信事業費	10,010,255	15,000,000	▲ 4,989,745
19	給与手当	13,673,513	14,120,000	▲ 446,487
20	法定福利費	21,761	70,000	▲ 48,239
21	福利厚生費	36,240	25,000	11,240
22	旅費交通費	164,688	320,000	▲ 155,312
23	通信費	8,272	40,000	▲ 31,728
24	減価償却費	1,283,514	3,633,000	▲ 2,349,486
25	賃借料	220,000	248,000	▲ 28,000
26	事 業 費 計	54,405,605	57,456,000	▲ 3,050,395
27	管 理 費			
28	会議費	211,745	500,000	▲ 288,255
29	事務用品費	168,749	400,000	▲ 231,251
30	諸会費	1,391,203	60,000	1,331,203
31	給与手当	3,418,378	3,530,000	▲ 111,622
32	法定福利費	5,440	18,000	▲ 12,560
33	福利厚生費	9,060	6,000	3,060
34	旅費交通費	41,171	80,000	▲ 38,829
35	通信費	2,068	10,000	▲ 7,932
36	減価償却費	320,878	909,000	▲ 588,122
37	租税公課	160,800	161,000	▲ 200
38	賃借料	55,000	62,000	▲ 7,000
39	雑費	2,148,537	1,600,000	548,537
40	管 理 費 計	7,933,029	7,336,000	597,029
41	経 常 費 用 計	62,338,634	64,792,000	▲ 2,453,366
42	評価損益等調整前当期経常増減額	3,482,542	141,000	3,341,542
43	投資有価証券評価損益等	▲ 649,671	0	▲ 649,671
44	当 期 経 常 増 減 額	2,832,871	141,000	2,691,871
45	2. 経常外増減の部			
46	経常外収益			
47	経 常 外 収 益 計	0	0	0
48	経常外費用			
49	経 常 外 費 用 計	0	0	0
50	当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
51	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	2,832,871	141,000	2,691,871
52	一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	354,603,006	354,765,665	▲ 162,659
53	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	357,435,877	354,906,665	2,529,212
54				
55	II 指定正味財産増減の部			
56	基本財産評価損			
57	投資有価証券評価損	116,100,000	0	116,100,000
58	当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	▲ 116,100,000	0	116,100,000
59	指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	1,756,926,951	1,635,126,951	121,800,000
60	指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	1,640,826,951	1,635,126,951	5,700,000
61				
62	III 正味財産期末残高	1,998,262,828	1,990,033,616	8,229,212

正味財産増減計算書 前年対比

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

(円)

	科 目	当年度	前年度	増 減
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	経 常 収 益			
4	基本財産運用益			
5	基本財産受取配当金	15,087,207	14,092,934	994,273
6	受取寄附金			
7	受取寄附金	50,000,000	50,000,000	0
8	雑収益			
9	受取利息	557,482	557,329	153
10	雑収益	176,487	142,850	33,637
11	経 常 収 益 計	65,821,176	64,793,113	1,028,063
12	経 常 費 用			
13	事 業 費			
14	収集・保存・展示	18,614,734	1,176,214	17,438,520
15	振興・助成・支援	10,372,628	9,590,330	782,298
16	その他情報発信事業費	10,010,255	10,063,816	▲ 53,561
17	給与手当	13,673,513	13,850,044	▲ 176,531
18	法定福利費	21,761	69,781	▲ 48,020
19	福利厚生費	36,240	32,240	4,000
20	旅費交通費	164,688	206,815	▲ 42,127
21	通信費	8,272	26,624	▲ 18,352
22	減価償却費	1,283,514	1,456,697	▲ 173,183
23	賃借料	220,000	248,600	▲ 28,600
24	事 業 費 計	54,405,605	36,721,161	17,684,444
25	管 理 費			
26	会議費	211,745	297,525	▲ 85,780
27	事務用品費	168,749	345,942	▲ 177,193
28	諸会費	1,391,203	57,500	1,333,703
29	給与手当	3,418,378	3,462,510	▲ 44,132
30	法定福利費	5,440	17,445	▲ 12,005
31	福利厚生費	9,060	8,060	1,000
32	旅費交通費	41,171	51,703	▲ 10,532
33	通信費	2,068	6,656	▲ 4,588
34	減価償却費	320,878	364,174	▲ 43,296
35	租税公課	160,800	0	160,800
36	賃借料	55,000	62,150	▲ 7,150
37	雑費	2,148,537	1,684,951	463,586
38	管 理 費 計	7,933,029	6,358,616	1,574,413
39	経 常 費 用 計	62,338,634	43,079,777	19,258,857
40	評価損益等調整前当期経常増減額	3,482,542	21,713,336	▲ 18,230,794
41	投資有価証券評価損益等	▲ 649,671	▲ 607,634	▲ 42,037
42	当 期 経 常 増 減 額	2,832,871	21,105,702	▲ 18,272,831
43	2. 経常外増減の部			
44	経常外収益			
45	経 常 外 収 益 計	0	0	0
46	経常外費用			
47	経 常 外 費 用 計	0	0	0
48	当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
49	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	2,832,871	21,105,702	▲ 18,272,831
50	一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	354,603,006	333,497,304	21,105,702
51	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	357,435,877	354,603,006	2,832,871
52				
53	II 指定正味財産増減の部			
54	基本財産評価益			
55	投資有価証券評価益	0	121,800,000	▲ 121,800,000
56	基本財産評価損			
57	投資有価証券評価損	116,100,000	0	116,100,000
58	当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	▲ 116,100,000	121,800,000	▲ 5,700,000
59	指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	1,756,926,951	1,635,126,951	121,800,000
60	指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	1,640,826,951	1,756,926,951	▲ 116,100,000
61				
62	III 正味財産期末残高	1,998,262,828	2,111,529,957	▲ 113,267,129

貸借対照表

2024年3月31日 現在

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	276,660,811	276,607,709	53,102
みずほ 普 通 預 金	56,660,811	56,607,709	53,102
みずほ 定 期 預 金	220,000,000	220,000,000	0
流 動 資 産 合 計	276,660,811	276,607,709	53,102
2. 固 定 資 産			
基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	1,587,445,208	1,703,545,208	▲ 116,100,000
メ モ リ ア ル 品	53,381,743	53,381,743	0
美 術 品	37,300,380	35,127,000	2,173,380
基 本 財 産 合 計	1,678,127,331	1,792,053,951	▲ 113,926,620
そ の 他 固 定 資 産			
建 物 付 属 設 備	453,952	0	453,952
備 品	7,765,071	6,982,335	782,736
投 資 有 価 証 券	35,358,990	36,008,661	▲ 649,671
そ の 他 固 定 資 産 合 計	43,578,013	42,990,996	133,065
固 定 資 産 合 計	1,721,705,344	1,835,044,947	▲ 113,793,555
資 産 合 計	1,998,366,155	2,111,652,656	▲ 113,740,453
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
預 り 金	76,126	76,048	78
未 払 費 用	27,201	46,651	▲ 19,450
流 動 負 債 合 計	103,327	122,699	▲ 19,372
負 債 合 計	103,327	122,699	▲ 19,372
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
受 贈 投 資 有 価 証 券	1,587,445,208	1,703,545,208	▲ 116,100,000
受 贈 メ モ リ ア ル 品	53,381,743	53,381,743	0
指 定 正 味 財 産 合 計	1,640,826,951	1,756,926,951	▲ 116,100,000
(うち基本財産への充当額)	(1,640,826,951)	(1,756,926,951)	▲ 116,100,000
2. 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	357,435,877	354,603,006	2,832,871
(37,300,380)	(37,300,380)	(35,127,000)	2,173,380
正 味 財 産 合 計	1,998,262,828	2,111,529,957	▲ 113,267,129
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	1,998,366,155	2,111,652,656	▲ 113,286,501

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券は、購入時の取得価額によっている。
- ・満期保有目的の債券並びに子会社及び関連会社株式以外の有価証券
時価のあるもの……期末日の市場価格に基づく時価法によっている。
時価のないもの……移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- 建物附属設備については、定額法によっている。
- 備品については、定率法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

- 税込経理によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,703,545,208	0	116,100,000	1,587,445,208
メモリアル品	53,381,743	0	0	53,381,743
美術品	35,127,000	2,173,380	0	37,300,380
合 計	1,792,053,951	2,173,380	116,100,000	1,678,127,331

- ・投資有価証券の当期減少額116,100,000円は、NISSHA株式30万株を期末日(3/29)の東証プライム市場終値(1株1,472円)で評価したことによる評価損である。

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。(円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
投資有価証券	1,587,445,208	1,587,445,208	0	0
メモリアル品	53,381,743	53,381,743	0	0
美術品	37,300,380	0	37,300,380	0
合 計	1,678,127,331	1,640,826,951	37,300,380	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
メモリアル品	53,381,743	0	53,381,743
美術品	37,300,380	0	37,300,380
建物附属設備	456,500	2,548	453,952
備品	18,570,482	10,805,411	7,765,071
ソフトウェア	3,150,000	3,150,000	0
合 計	112,859,105	13,957,959	98,901,146

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
社債			
みずほフィナンシャル グループ無担保社債	20,000,000	19,850,000	▲ 150,000
合 計	20,000,000	19,850,000	▲ 150,000

附属明細書

1. 基本財産の明細

計算書類に対する注記2のとおり

2. 引当金の明細

該当なし

財産目録

2024年3月31日 現在

(円)

	貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
1	流動資産			
2	現金預金			
3	普通預金	みずほ／京都中央	事業資金	56,660,811
4	定期預金	〃	〃	220,000,000
5	流動資産合計			276,660,811
6	固定資産			
7	基本財産			
8	投資有価証券	NISSHA株式 30万株		441,600,000
9		日晶産業株式 3,980株		274,488,660
10		鈴木興産株式 6,247株		871,356,548
11				(1,587,445,208)
12	メモリアル品	骨董印刷機他 30点		53,381,743
13				(53,381,743)
14	美術品	ダンテ著作集		14,000,000
15		欽定英訳聖書		3,000,000
16		ペイル原書「英文典初歩」		700,000
17		ウル第3王朝時代の粘土板		650,000
18		杉田玄白他訳「解体新書」2冊		2,850,000
19		「京名所案内道法略記」版木3枚		580,000
20		グーテンベルク印行「42行聖書」零葉 第121葉		9,500,000
21		「浮世絵印刷の過程」大型本 明治44年刊		1,390,000
22		ゼネフィルター「12の風景画」		1,260,000
23		ジャン・レベデフ 版木11点 刷見本付		680,000
24		徳力富吉郎画「京洛三十題」全30枚		275,000
25		「オー・アルクバス」ラベル印刷用石版		242,000
26		オリジナル銅板・版木・石版板		2,173,380
27				(37,300,380)
28	その他固定資産			
29	建物附属設備	印刷歴史館第一展示室電気設備工事		453,952
30				(453,952)
31	備品	Pham Luan 絵画「二重橋」		410,063
32		「二重橋」額代		13,512
33		ミニー吉野 絵画「繁栄と衰退」		410,063
34		「繁栄と衰退」額代		16,011
35		展示ケース ガラス製		32,524
36		Akiha Yamakami 絵画 4枚		168,048
37		Go Sugimoto 写真 6枚		467,600
38		映像音声資料 デジタル化		116,280
39		ミニー吉野 油絵「創造性の継承」		246,038
40		「創造性の継承」額代		38,563
41		自動プラテン T型 印刷機(OH機)		1,679,241
42		吉野祥江 油彩画「Presperity-Today」		82,227
43		ミニー吉野 油絵「IMAGINATION CREATES THE WORLD」		252,873
44		YASIORIイラスト制作 原画2点		62,359
45		御即位記念地図		19,337
46		ワイヤレスガイドシステム		414,240
47		展示用iPad		22,778
48		石板スタンド		54,945

49		書籍「東大寺」・「土門拳」・「入江泰吉」	935,001
50		50インチ液晶モニター	464,464
51		特注モニタースタンド	969,375
52		メディアプレイヤー	427,460
53		多色刷り図版用展示テーブル	462,069
54			(7,765,071)
55	投資有価証券	ダイワ日本国債ファンド	15,358,990
56		みずほフィナンシャルグループ無担保社債	20,000,000
57			(35,358,990)
58	固定資産合計		1,721,705,344
59	資産合計		1,998,366,155
60	流動負債		
61	預り金	源泉所得税	76,126
62	未払費用	労災保険	27,201
63	負債合計		103,327
64	正味財産		1,998,262,828

以上、当財団の財産目録に相違ありません。

2024年 5月 8日

一般財団法人 NISSHA財団
理事長 鈴木 順也